

バス停からの 小さな旅



04 バス停「清水(むくの木・そうきち線)」から 河岸段丘に沿って野笹の湧き水をめぐる

美濃加茂市の南部は、木曾川・飛騨川の堆積作用と浸食作用によって形成された河岸段丘です。段丘は5段に分かれ段差のある場所では、水が湧き出る水場がありました。そこは、洗い場として、また、交流の場として地域に暮らす人たちにとって大切な場所でもありました。

古井の清水町も湧き水がある地として名付けられた地名です。神明森山線の太多線踏切脇(南西の位置)にある清水は、現在は枯れ、洗い場の姿を残すのみとなりました。

しかし、そこから段丘に沿って東に位置する野笹町には、今なお、こんこんと湧き出ている水場があります。太多線線路下と国道21号線・248号線の高架下地下道の水路では、どこからともなく水が湧き出ており、南に向かうほど水量が増していくのが分かります。

その地下道を抜けたところの西側に水場があり、野笹自治会が管理をしています。

ひっそりと人々の生活に潤いを与えている湧き水に、そっと手を入れ、自然の恵みを感じながら癒されてみてはいかがでしょうか。



今回乗車したバス

行き…むくの木・

そうきち線 4便

帰り…まちなか

ぐるっと線 4便

10時53分 美濃太田駅南口

10時57分 清水

北へ移動し、線路脇の
洗い場跡で休憩。東に

10分程進み、野笹の水
場でクールダウン・周

辺散策

12時50分 アピタ美濃加茂店

13時10分 美濃太田駅南口



▲清水の洗い場跡(撮影日は雨上がりのため、洗い場内に水がありましたが、普段は水はありません)



▲野笹の水場